

第1学年 総合的な学習の時間 学習指導案

那覇市立松島中学校 教諭 高良 直人

1 単元名 末吉公園フィールドワーク「末吉公園の果てまで行ってQ」

2 単元の目標

- ・末吉公園の豊かな自然や文化遺産について学び、貴重な地域資源について知識を深める。また、習得した知識をレポートやプレゼンなどでまとめる。(知識・技能)
- ・末吉公園の豊かな自然や文化遺産を守るため、様々な取り組みが行われているが、地域に住む者として、何ができるのか？友人たちと共に考える。また、この環境を後世に残していくためには何が必要なのか？課題を探求していく。(思考・判断・表現)
- ・末吉公園の今後について、考え、課題についてみんなで共有しながら、保全のための地域活動を実際に行っていく。(主体的に学習に取り組む態度)

3 単元について

(1) 教材観

- ・身近にある末吉公園には、豊かな自然や文化遺産など、他に見られない貴重なものが数多く存在している。この豊かな地域資源について学び、実際にそこに入り、探求活動を行うことはSDGsの「多様性」「相互性」にも結びつく深い学習になると考える。
- ・末吉公園保全活動に関わっている人々を招き、実際の活動の様子や、末吉公園の課題について学ばせることで地域資源や環境にも目を向けることができ、「持続可能な社会」への関心も引き出し、今後の生徒自らの活動の意欲や意識付けにも繋がるものと考え。
- ・実際のフィールドワークを通して、仲間たちと協力しながら現地で主体的に学び合い、探求活動を行うことで、自分の生活や地域との関わりを見つめ直す良い機会にもなると考える。さらに、この活動を通して地域社会のあり方や課題にも目を配り、今後の自己の生き方を考えるための良い教材になりうると考える。

(2) 生徒観

- ・本校1年生は220名で、男女ともに仲が良く、活発な生徒が多い。授業中での意見交換や発表なども積極的に行えるなど好感が持てる。フィールドワークでも友人たちと協力しながら活発な探求活動が展開できることを期待している。
- ・「末吉公園の自然と文化遺産」と銘打って、事前学習を行った。授業後に、生徒から取ったアンケートの結果が次の通りである。
 - 「Q 末吉公園に行ったことがありますか？ 74.4%。⇒行ったことがない25.6%。」
 - 「Q 今日の授業を通して、末吉公園について興味がわきましたか？⇒94.7%」
 - 「Q 末吉公園で何を見てみたい？調べてみたいと思いましたか？」「A 末吉宮」
 - 「A 末吉公園の植物や虫、動物など」「A 安謝川の水源について」・・・等々。
- ・その他、SDGsの関連項目についても生徒から「⑩住み続けられるまちづくりを」「⑮陸の豊かさを守ろう」というキーワードが飛び出し、末吉公園を舞台に幅広い学習に期待感を膨らませている様子が見えたりする。また、地域や社会に係わる総合的な学習になるように意欲的に取り組みたいという意見も多く寄せられている。

(3) 指導観

・本単元の指導にあたっては、まず、「末吉公園の自然と文化遺産」について事前学習を行う。生徒観でも述べたように、身近にある豊かな自然と文化遺産について、かなり興味・感心が高いものと伺える。その生徒の興味関心を土台に、2時間でタブレットを活用し調べ学習を行い、実際に現地に入り、何が見たいのか？何について調べたいのか？を考えさせる。また、末吉公園の保全に係わる藤井さんを講師として招き、講演を行い、末吉公園の概要と現状、課題について学ばせる。自ら調べた内容と現地で活躍している人の講話を聞いてさらに、末吉公園についての知識を深めさせる。

・6つのグループに分かれて、現地でガイドをしてもらうが、仲間で協力して、調べて発表させることで、次のESD資質能力の育成にも結びつけていきたい。

(4) ESDとの関連

・本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

相互性・・・末吉公園には、豊かな自然・文化遺産が残されているが、私たちの生活の影響で、存続が危ぶまれている現状もある。

連携性・・・末吉公園の自然や文化遺産を守るため、様々な取り組みがなされているが、地域に住む者として何ができるのかを一緒に考えていく必要がある。

責任制・・・私たち地域住民が、末吉公園の今後について真剣について考え、課題について共に共有して保全のための活動をしていくことが大切である。

・本学習を通して育てたいESDの資質・能力

「多面的・総合的に考える力」

末吉公園が地域の資源として、人・社会・自然など様々なものと繋がっていることを理解させ、多面的・総合的に考える力を培う。

「他者と協力する態度」

フィールドワークを通じて、他者の立場に立ち、他者の考えや行動に共感するとともに、他者と協力・協同してものごとを進めようとする態度を培う。

「つながりを尊重する態度」

講演や調べ学習、実際のフィールドワークを通して、人・社会・自然などと自分の繋がり・関わりに関心を持ち、それらを尊重し大切にしようとする態度を培う。

・本学習で変容を促すESDの価値観

「自然環境や生態系保全を重視する（人と環境との関係）」

人は自然の一部だということをあらためて認識させ、末吉公園の魅力や現状を知り、地域の環境を守るために何ができるかを考えさせる。

「環境と社会生活＝幸福感を大切にする（人と人との関係）」

身近にある末吉公園の豊かな自然に恩恵を受けていることを大観させる。また、環境に配慮した社会生活を営むことが、持続可能な社会作りに繋がることを理解させる。

「世代間の公正＝過去世代及び将来世代（人と人との関係）」

末吉公園保全のための先人達の苦労や努力を尊重し、あるべき未来像（ビジョン）を予想させ、後生に残していくために何ができるかを考えさせる。持続可能な社会作りのための実際の行動を促す。（次世代に対する責任）

・達成が期待されるSDGs

- 「⑪住み続けられるまちづくりを」
- 「⑭海の豊かさを守ろう」
- 「⑮陸の豊かさを守ろう」



4 単元の評価基準

(ア) 知識及び技能	(イ) 思考力・判断力・表現力等	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
<p>①末吉公園の豊かな自然や文化遺産について学び、貴重な地域資源について知識を深めることができた。</p> <p>②習得した知識をレポートやプレゼンなどでまとめることができた。</p>	<p>①末吉公園の豊かな自然や文化遺産を守るため、地域に住む者として何ができるのか？考えることができた。</p> <p>②友人たちと、この環境を後世に残していくためには何が必要なのか？課題を探索し発表することができた。</p>	<p>①末吉公園について、今後のあり方について考え、保全のための活動に意欲的に係わることができた。</p> <p>②末吉公園について、学んだことを、地域の人に発信することができた。</p>

5 単元の指導計画（全9時間）

学習活動	○学習への支援	○評価・備考
<p>1 「末吉公園の自然と文化遺産について」事前学習(ガイダンス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近にある末吉公園には豊かな自然環境が数多く残されてる。 ・末吉公園には文化遺産や歴史的史跡も数多く残されている。 ・これからの、末吉公園の学習に関して、何を調べたいのか？どんな体験をしたいのか？みんな考えてみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「末吉公園の自然と文化遺産」について、概要を説明して生徒の興味・関心を導き出す。 ・これからの学習に対する見通しを持たせ、どんなことを学びたいのか？どんな体験をしたいのか？を考えさせる。 	<p>～見つめる①～</p> <p>(ア) (地・技)</p>
<p>2・3 「末吉公園の魅力」</p> <p>～藤井さんの講演会～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「森の家みんな」藤井さんに末吉公園の魅力や今ある課題について、話してもらい、探究学習の道標を開かせる。 	<p>～見つめる②③～</p> <p>(ア) (地・技)</p> <p>(イ) (思・判・表)</p>

<p>4・5 「末吉公園・調べ学習」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5つのグループで、末吉公園の自然・文化について調べる。 ・ガイド（発表）用の資料原稿をまとめて、準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークが上手くいくようにフォロー・アドバイスを ・ガイドが上手くいくよう発表のリハーサルも兼ねさせる。 	<p>～見つめる④⑤～</p> <p>(ア) (地・技)</p> <p>(イ) (思・判・表)</p> <p>(ウ) (主体的)</p>
<p>6・7・8</p> <p>「末吉公園フィールドワーク」</p> <p>～末吉公園の果てまで行ってQ～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各ポイントを巡り、ガイドの話聞き学習する。 ・それぞれが、調べたい課題について実際に見聞して学習する。 ・学んだことや発見したものは、タブレットで写真を撮り、事後学習用の資料も集める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワークが安全に実施できるように細心の注意を払う。 ・ガイド役生徒がしっかり発表できるように、フォローをする。 ・探求学習が上手くいくように声かけ支援をする。 ・ただの散策に終わらせず、学ばせる手立て、声かけをする。 	<p>～深める⑥⑦⑧～</p> <p>～体験する～</p> <p>(ア) (地・技)</p> <p>(イ) (思・判・表)</p> <p>(ウ) (主体的)</p>
<p>9・10・11</p> <p>「フィールドワーク事後学習」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地で学んだことや発見したことをまとめる。 ・末吉公園の今後について何ができるかをみんなで考え、発信する手立てを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループで協力しながら、レポートやプレゼンなどでまとめさせる。 ・SDGs委員会の地域ボランティアなどに関連付けさせる。 	<p>～広げる⑨⑩⑪～</p> <p>(ア) (地・技)</p> <p>(イ) (思・判・表)</p> <p>(ウ) (主体的)</p>
<p>12</p> <p>「末吉公園果てまで行ってQ」</p> <p>発表会＝「沖縄県SDGs達成に向けた教育実践」にて、発表する。(地域に向けて発信)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数グループのプレゼンを発表してもらう。 	<p>～広げる⑫～</p> <p>(ア) (地・技)</p> <p>(イ) (思・判・表)</p> <p>(ウ) (主体的)</p>

*簡易的に凝縮してまとめたので、良く分からないところもあると思います。そこは別紙の資料にて提示しますので、いろいろアドバイスお願いします(^_^)。